

4-B「病氣と向き合う子どもが笑顔になる贈り物事業」 実施報告書 2015



病気で入院・療養が長期間になると勉強や遊びなど、さまざまなことが制限されます。そのような状況下の子どもたちには、情緒的ウェルビーイング（安心感・満足感・幸福感）を保障していくことが特に重要です。プロのパフォーマーと出会い、子どもたちの心からの笑顔と感動、喜びの声が聞こえる温かく楽しいコミュニケーションの場をプレゼントしました。付き添う保護者もほっとできる機会となりました。

実施病院：千葉県こども病院

公演プログラム名：「ナメちゃんのあったかライブ」ともしび音楽企画

病室訪問、1歳児がマンダリンの音色にうっとり。



「だれにだって誕生日」の歌でみんなが自分の誕生日に恥ずかしそうに手をあげた。中学生の男の子達も照れながらも手を挙げて笑顔。男の子が公演後に廊下で「鬼のパンツ」を大きな声で歌っていた。

日時：2015年8月3日（月）14：00～16：25
場所：5F病棟プレイルーム 7F病棟プレイルーム
参加者人 68人
5F(子ども11人 保護者10人 病院関係者12人)
7F(子ども16人 保護者13人 病院関係者6人)
出演者：行貝ひろみ 丸山堅志

公演内容

歌とパネルシアター、手遊び、マンダリンの伴奏でコンサート「シャボン玉」「かくれんぼ」「だれにだってお誕生日」「おにのパンツ」ほか事前リクエストで



一番乗りでおばあちゃんやってきた女の子が嬉しそう。男の子が二人、『手遊び歌』からドンドン乗ってきて、「何作ろう」ではパーとグーで「おすし」チョコとチョコで「鼻ほじり機」とキャハハと笑い声を上げていた。



保護者からの声

- ・入院していて、どこにも連れて行ってあげられないから素敵な時間をありがとう。
- ・退屈していたから楽しかった。ナメちゃん、気持ちをつかむものがあるんじゃないですか？良く見ていた。
- ・1月から入院で、外にも出られずストレスもたまるので、今日は、とってもよかった。

子どもの声

- ・パネルシアターが不思議できれいだった。
- ・ナメちゃんと友達と手話に合わせて歌ったのが楽しかった。
- ・楽しい日になりました。このことは忘れません。

病院関係者からの声

- ・入院生活でつらい治療・いろいろな制限・我慢・不安・疲れ・不満などマイナスな事がある中でこのようなイベントは子どもにとっても、保護者にとってもマイナスなことを忘れ時間となります。病氣と闘う子どもの力にもなります。

実施病院：国立病院機構 千葉東病院

公演プログラム名：「アフリカの太鼓でお盆！」

日時：2015年8月12日（水）14：00～15：30
場所：31病棟プレイルーム 32病棟プレイルーム
参加者98人
31(子ども35人 保護者2人 病院関係者14人)
32(子ども29人 保護者2人 病院関係者16人)
出演者：B.B.モフラン ダウディ・ジョセフ 當間典子

モフランが一人ずつ回って太鼓を聞かせて入場。恥ずかしがる子、手を伸ばして太鼓を触ってみる子やたたいてニコニコしている子もいた。じーっと目を開けて見ている子、身体をゆすったり、手や足を動かしたり、声をだして一緒にうたう子もいた。太鼓のリズム、音、響きを一人一人が楽しんでた。



公演内容

アフリカンパーカッション、ギター、ピアノ（キーボード）演奏と歌。ライオンキングより「サークルオブライフ」「サイサイ」（お酒の実のフルーツを食べて酔っぱらったうた）「マライカ（天使のうた）」「ママレア（お母さんのうた）」他



病院関係者からの声

- ・普段関わっている私たちでも見るのがむずかしいような笑顔や表情を見ることができた。本物のパフォーマンスでしか、引き出せないと思った。
- ・様々な表情、表現を引き出してくれて、見ているこちら側も嬉しくなった。今回のような音楽（生演奏や歌）をぜひ、またお願いしたい。



アンコールはアフリカの太鼓でソーラン節。かけ声や手拍子でみんな一緒に盛り上がった。最後に、子どもたちからパフォーマーへ、手作りの写真立てをプレゼント。

保護者からの声

- ・アフリカのお盆の祭り、とても楽しかった。親子で楽しく過ごさせていただいた。また、楽しみに待っている。
- ・アフリカの歌を初めてきいたがプロですね。歌は世界共通ですね。歌とタイコ素晴らしい。
- ・こんな機会があるといいですね。私も楽しい。

地域発信でワークショップも実施しました。

実施病院名：独立行政法人国立病院機構 下志津病院

ワークショップ名：「キラキラカラフル工作、楽しく作ろう！」

日時：2015年7月27日(月)15:00～15:45
場所：プレイルーム
参加者：15人(子ども13人 病院関係者2人)
講師：(特)四街道子どもネットワーク

やりたいものを選んだらリボンレイストラップが人気。半分やったが、やり直しあきらめず完成させた子もいた。「丁寧にやりすぎて、一個しかできなかった～」という子は模様が揃いとでもきれい。「色の選び方が同じだ～」と隣の子と楽しそうに作っていた。



ワークショップの内容

鏡の性質を利用した、キラキラ立体万華鏡。リボンレイストラップ。ふなっしーの折り紙。

子どもの声

- ・初めて作ってたのしかった。キラキラ万華鏡、中をみてすごくきれいだった。
- ・はじめ、むずかしかったが、だんだんおもしろくなり思ったよりきれいにできた。
- ・ストラップ、夏休みに作ってみたい。



病院関係者からの声

- ・身の回りの物を使った遊びに興味をもてた。自分で作りあげた事で、より一層嬉しさが増す。
- ・コミュニケーションをとることが苦手な子ども、スタッフに質問する姿があった。

実施病院名：成田赤十字病院

ワークショップ名：「月と星のおはなし・作ってあそぼう～楽しい変り絵」

日時：2015年10月20日(水)10:00～11:30
場所：クリーンルーム
参加者：23人
(子ども10人 保護者6人 病院関係者7人)
講師：(特)子どもプラザ成田

ワークショップの内容

電子ピアノ伴奏でストローミニシアター
エプロンシアター、紙芝居 絵本
変り絵 (ペーパーサート・工作)



「星坊のストロー・ミニシアター」が始まると、ピアノの音に誘われて各部屋から男の子たちが出てきた。登場人物となったみんなが体をゆらして「うんとこしょ!どっこいしょ!」「おおきなかぶ」を抜いて大歓声!ニコニコ顔だ。



変り絵は、お化けが消えてびっくり!しいたけ、花火、キャラクター等思い思いの絵を画いて、できた変り絵をうれしそうに見せ合っことした。変わる楽しさを見つけて何枚も作った子もいた。

子どもの声

- ・たのしかった

病院関係者からの声

- ・変化の乏しい中で日々いるので、こういう事が出来ることは良いと思う。

保護者からの声

- ・点滴につながれ、なかなか身動きしにくい所だったので気分転換になった。いい笑顔を見せてもらった。
- ・工作をこんなに楽しそうに取り組んでいる姿を久々に見た。



たくさんの方のご支援に、たいへん感謝いたします。

【カンパチャリティ参加寄付店】 亀八庵 壁の穴 居酒屋一九 丸屋 カフェぶれいす レストランロス・アンジェルス 焼肉伝次 ホットドック幕張カーキーズ 銀寿司 炭火屋ともろうJr キャプテンズクック もののわ わらやき三四郎 よ志のル・ダルジャンデュソレイユ 季節料理 鮮

【寄付者】 船橋グランドホテル 池田徹 渡辺博子 有限会社トスカーナ 川本泉美 (株)ナベサン 安藤弘美 北山理恵子 竹中敦子 高野ふみ江 赤塚章 伊藤ルミ 岡田次生 黒木裕子 ともしび音楽企画 飯間司 西牟田敏之 伊庭洋司 秋葉哲生 市川公子 NPO法人市川子ども文化ステーション 高柳直子 ぎやまん亭 棚田俊幸 和田眼科医院 鳥羽剛 依知川稔 竹内悦子 シーボン浦安店 豊岡正弘 細山公子 清水芳子 カーサ・デ・ポポロ 中澤玲於樹 鳥いち 京あかり 四季よし オモニキムチ 日乃出庵 一品香 栢山千恵子 佐久間園子 他 17人 (順不同 敬称略)

特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 勤労センター新千葉 102号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

URL http://chiba.gekijou.org/

